



広報

No.247

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口

平成 4 年 7 月末現在

世帯数	8,132戸
人口	26,644人
男	13,626人
女	13,018人

7 月の人口移動

出生	22件	死亡	14件
転入	73件	転出	88件
婚姻	9件	離婚	4件

編集・発行/西原町役場企画課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(945)4533 印刷/(協)丸正印刷



中・高校生が守礼の里で交流

明るく住みよい福祉のまちづくりを推進しようと中・高校生ボランティアワークキャンプ(主催・町社協)が7月22日から24日までの3日間、社会福祉センターで行われました。

これは、ハンディを持った人と触れ合い交流を深める中で、ボランティアの意義を理解して活動の輪を拡げることが目的。参加者は35人(うち中学生7人)。2日目は特別養護老人ホーム守礼の里で、介助の実技指導や食事・洗面の介助、デイサービスを受けている人との交流を体験しました。(＝写真)

3日目は、愛泉園や国立療養所沖縄病院、森川養護学校など福祉施設の見学も行われました。

21世紀を創造する人間性豊かな「文教のまち西原」

二土曜日が休み

9月12日から

特集③



ゆとりの時間があると、何ともいえない表情になる

子どもたちの生活にゆとりを

自分で考え、自分で判断

“生涯学習社会” へ大きなステップ

いよいよ今月から幼稚園、小学校、中学校、高等学校、並びに盲学校、聾学校、養護学校において、毎月の第二土曜日を休業日とする“学校週五日制”が始まります。実施に当たって、家庭や地域社会では、子どもたちが自由に使える時間を確保し、子どもたちがゆとりのある生活の中で豊かな感性や社会性、創造性を培ったりすることが期待されています。したがって、家庭や地域における子どもたちの遊びや、親子の触れ合い、自然体験、社会体験、生活体験などの機会が拡充するよう十分に配慮する必要があります。学校、PTA、青少年団体、スポーツ・文化団体等の関係者をはじめ社会一般の理解と協力がぜひ必要です。

今月から毎月第

学校週 5 日制導入

学校週 5 日制による 施設開放

◎町民体育館

アリーナ部分の無料開放 (毎月第 2 土曜日)

指導員等を配置する

開放時間 午前 8 : 30 ~ 午前 12 : 00

◎陸上競技場

自由開放 午前 8 : 30 ~ 午前 12 : 00

◎中央公民館

図書室、テニスコート、ホール (映写、講座等の
計画あり)

指導員等を配置する

開放時間 午前 8 : 30 ~ 午前 12 : 00

◎学校施設 (体育館、運動場、プール)

指導員等を配置する

開放時間 午前 8 : 30 ~ 午前 12 : 00

◎地域公民館、事務所等については各自治会の協力を
得て開放していく

開放時間 午前 8 : 30 ~ 午前 12 : 00

西原町教育委員会、社会教育課

☎ 945-3655・3656



休みの土曜日は、児童館で遊んだり、学校で部活動をする予定の子どもも多い

休みの土曜日、何をしたいか、またどう過ごさせたいか聞いてみました。

○お友だちといっぱい遊びたい。

西原小三年 立津 薫

○ドッジボールして遊びたい。

西原小一年 當野 杏紗

○部活(卓球)をして過(こ)す。

西原東中一年 大城良太

○特に考えてない。子どもの主体性にまかせたい。

小四年の父 福治義和

○共働き家庭なので、家の後かたづけをさせて、その後は子どもの主体性にまかせる。しばらく様子を見て、少しずつ課題を与えるのもいいと思う。

小四・中一年の母

玉城 藤子

○子どもたちにまかせせる。長い夏休みも過ごせるから月一回の休みは何でもない。神経質に考える必要ない。

幼・小五年の母

儀間 ひろみ



60人の個人および2団体が表彰された

「家庭・地域・行政が一体となって青少年の健全育成を図ろう」と述べました。また、意見発表では西原小六年の宮平麻希さんが「朝のクリン活動によって、おちついて勉強できるようになった」、西原東中三年の平良祥子さんは「た

家庭・地域・行政が一体に

町青少協が総決起大会

青少年に心豊かな家庭とよい環境を」と第十二回町青少年健全育成町民総決起大会が、七月十八日午後二時から町中央公民館で開催されました。

大会では関係者約三百人が参加。県営西原団地ひまわり子ども会によるアトラクション「ひまわり太鼓」で始まり平安町青少協会長があいさつ。その後、児童・生徒三人による意見発表が行われ、善行青少年を含む六十人の個人および二団体が表彰されました。

あいさつの中で平安会長は

「家庭・地域・

行政が一体とな

って青少年の健

全育成を図ろう

と述べました。

また、意見発

表では西原小六

年の宮平麻希さ

んが「朝のクリ

ン活動によっ

て、おちついて

勉強できるよ

うになった」、西原

東中三年の平良

祥子さんは「た

ばこを吸うことは本人の意志が弱いことはもちろん、親や大人は心の底から叱ってほしい」、西原高校二年の糸数美香さんは「たばこには発ガン物質が含まれているというのに未成年者の喫煙者が多い。国や社会は子どもの未来をもっと真剣に考えてほしい」とそれぞれ訴えました。

なお、表彰された人は次の通り。

(敬称略)

▽坂田小・仲村早苗、上原し

孫と一緒にの参加も

平和の尊さ追体験で学習

第五回親子で学ぶ戦争追体験平和バスツアー(町・町教育委員会共催)が、八月十四日実施されました。

これは親子で町内、県内の戦争の悲惨さと無益さ、平和の尊さについて実地で学習することにより平和に対する意識の高揚を図るためのもの。

親子約百人が参加した平和バスツアー一行は、バス二台

ま子、安里さとみ、山城和佳奈、勝連厚、太田雅之、太田太之、親泊寛紀、仲宗根恵、與那嶺佑樹▽西原小・大城盛彦、池田愛士、玉城弘美、梅川直樹、宮平麻希、伊計篤志、小鍋悠、平良一将▽西原南小・崎原裕之、石川健太郎、糸数敏幸、大城朋恵、小波津朝子、比嘉いずみ▽西原東小・小渡正子、加屋本大、真喜志由美、喜屋武弘彰、登野城慶、照屋祐馬▽西原中・石川博之、吉田和仁、天久い

ずみ、當間久、与那城美香、与那城千夏▽西原東中・大城悟、平良祥子、平良南柳、新城聡、赤嶺朋美、金城惣司、玉那覇聡子、眞榮城優子、泉川美咲▽町子ども会・前泊千晴、田中留美、本庄香南、平良ナンシー、安里寿恵、玉那覇幸美▽その他・外間俊夫、平良邦昭、赤嶺秀政、親泊春子、城間力、平良利夫、比嘉京子、宮平忠茂、與那嶺建和、小波津ファイターズ、町婦人連合会。

に分乗し、まず西原の塔へと向かいました。西原の塔では、献花や一分間の黙とうの後、去った大戦の戦況状況の説明が行われ、参加者は熱心にメモを取っていました。その後、一行は嘉数高地、普天間基地、嘉手納基地などを見学し、平和ガイドの会員らの説明も受けながら親子で追体験しました。

孫と参加した宮平春子さん



小波津の旧日本軍陣地壕跡を見学する参加者ら

交流の和を末長く

「青少年ふれあいの旅」歓迎



都留市の子どもたちは「武田節」を全員で披露した

国体きつかけに自治体交流

山梨県都留市の「青少年ふれあいの旅」(団長・都倉昭二市長)一行37人が、八月四日から八月七日までの4日間本町を訪れ、青少年らが交流を深めました。

一行は、小・中学生30人、市長および教育委員会関係者7人の計38人。児童生徒の交流を通して、本町の歴史や文化にふれ、友情と連帯の精神を養い、自信と勇気ある青少年の育成を図るためのもの。都留市とは平成元年から交流

が始まり、昨年12月には本町から青少年を都留市に派遣。4回目の今年は、同市からの訪問団一行を受け入れました。

八月五日午前、町中央公民館で行われた歓迎レセプションでは、昨年同市を訪問した

青少年を中心に、教育関係者らが出席し歓迎会が行われました。あいさつの中で平安町長は「すばらしい自然に恵まれ、水のきれいな都留市からようこそいらっしゃいました。交流事業が年々充実してきて

いる。どうぞ本町の子どもたちと仲良くして下さい」と歓迎のことばを述べました。

これに対し都倉都留市長は「国体がつきかけで自治体交流が始まった。これからも末長く交流を続けたい」と訪問のことばを述べました。また、前回訪問者代表の平良南柳さん(西原東中・三年)は「昨年は富士山や雪を見せてもらいお世話になりました。暑いかもしれないが楽しんで下さい」とお礼のあいさつ。その後、参加した児童生徒がお互いにアトラクションを披露し合い、交流を深めました。

一行は、町内視察や観光、海水浴をはじめ、南部戦跡地などをめぐり、平和についての体験学習も実施しました。



町花「ブーゲンビリア」のコサージュをつけて歓迎した

平和使節団派遣

広島市で親子が追体験

「被爆地、広島市へ親子(町民)を派遣し平和に対する意識を高めよう」と町では、八月四日から七日までの日程で「町親子平和使節団」を広島市へ派遣するため、その認定証交付式が7日24日午前、役場会議室で行われました。

これは、昭和60年度に決議された「町非核反戦平和都市宣言」を町民と共に推進するために平和事業の一環として行われるもの。

5回目の今年は、これまでの平和交流団から親子平和使節団に名称を改め、7組の親子(町立各小・中学校区及び琉大附属小・中学校から一組)及び関係者ら計17人を派遣。一行は広島市長表敬や原爆病院慰問をはじめ、非核都市宣言自治体連絡協議会全国大会、広島市平和祈念式典参列などを予定。あいさつに立った平安町長は「被爆地広島市へ行って、いろいろな人と接し戦争の愚かさ、醜くさを感じ、追体験して下さい」と激励し

ました。

これに対し、団員あいさつの中で赤嶺朋美さん(西原東中3年)は「命の尊さ、平和のすばらしさを勉強したい」と抱負を述べました。

なお、参加者は次の通り。

▽学校推薦 赤嶺秀政・朋美、宮平民雄・直木、山城美恵子・和佳奈、宮平美代子・麻希、新里勝弘・紀佳、玉城洋子・雅仁、屋良松枝・早苗、宮城淳▽町職員・小川良夫、新垣貞正 (敬称略)



出発前に役場玄関前で記念撮影をする参加者ら



地域に根ざした活動に発展

町文化協会(平敷静男会長)は第3回総会を7月24日午後、町中央公民館で開きました。

同会の会員は420人。あいさつの中で平敷会長は「一年間各分会がそれぞれ発表会や記念公演などを開き頑張った。しかもそれが慈善事業にも発展していることから会活動が着実に地域に根ざしてきたと思う」と話しました。

なお、今年度は11月に第2回文化祭や文化講演会などの事業を予定。



区民念願の翁長公民館落成

区民待望の翁長公民館(字翁長 132番地)がこのほど完成し、落成記念式典が7月19日午後行われました。

翁長公民館は延面積が約321㎡。総事業費が約9千万円。図書室や調理室、ステージと集会室、和室などが完備され、敷地東方へ神アサギも同時に建設されました。

公民館建設委員会長の新垣和男さんは「完成した公民館が区民のコミュニケーションの場、伝統芸能と伝統文化を継承させる場になってほしい」と述べました。



地球にやさしい農業学ぶ

琉球大学公開講座が7月20日から7月24日までの5日間、町共同福祉施設で開かれ、前日に引き続いて好評に終わりました。

高品質、多収、安全性を園芸生産の基本とした現場技術の向上を目的としたもので、参加者が30人。講師の比嘉照夫氏は、優良種苗の育成方法や環境対応技術、栽培重視、無耕起、無農薬、無化学肥料技術について解説。参加者の中には微生物利用のモデル農場を希望する農家もありました。



小波津団地まつりにぎわう

第16回小波津団地まつり(主催・小波津団地自治会団地まつり実行委員会)が8月14日と15日の2日間、同自治会集会所広場で開かれました。

子供盆踊りや琉舞、満月太鼓ばやしや琉球民謡など、子どもから青年・婦人・老人まで全区民が参加。この夏一番に燃え上がりました。

中でも初日、招待された兼平団地(南風原)音頭が披露され、観客から大きな拍手が送られました。



“あいえー、失敗さるむん”

第11回町老人クラブ連合会親善ゲートボール大会が、7月22日兼久ゲートボール場で開かれました。

今回は17チームが参加。猛暑の中、日ごろの練習成果を競いました。また、今回は7月5日資格試験に合格した9人の審判員も大活躍。上位2チームが中部地区へ派遣されることから熱気あふれる大会でした。なお、結果は次の通り。

▷優勝・幸地老人クラブ▷準優勝・小波津B老人クラブ▷3位・掛保久老人クラブ。



ルールやマナーを守って安全運転

夏の全国交通安全県民運動の初日(7月21日)、交通安全運動出発式が浦添警察署駐車場で開かれました。

出発式には、西原・浦添地区の住民約250人が参加。喜友名浦添署長は「職場、地域、学校が安全教育に努め、ルールやマナーを守って事故をなくそう」とあいさつ。その後、参加者全員が西高マーチングバンドを先頭に浦添市役所までパレードをし、交通安全を呼びかけました。

平和祈念講演・映画上映会

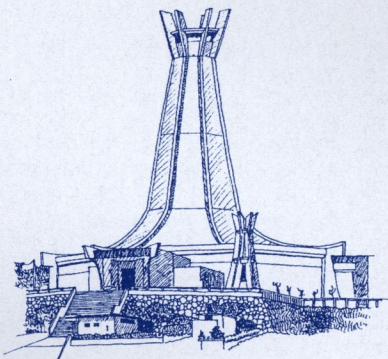


平和の尊さ かみしめる

終戦記念日の8月15日午後、平和祈念講演と映画上映会が町中央公民館で開かれました。

前半の祈念講演では、弁護士の真境名光先生が「戦争はまだ終わってない」と題し、従軍慰安婦の問題を提起。私達琉球の人は被害者であると同時に加害者でもあったことを考えていくべきと訴えました。また、真境名先生は「焼けぼっくいは、まだ私達の地面の中にある。焼けぼっくに一端火が点くと、たちまち広がる。同じように、日本人の心の中にも焼けぼっくがある。いつ戦争の火が点くかわからない。火が点かないように、また火が点けられないように食い止めなければならない」と反戦の思いを語りました。

後半は、映画「アランのうた」が上映され、参加者全員が平和の尊さをかみしめました。



町子ども会がジュニア・リーダー結成

進んで行動を起こそうと町子ども会ジュニア・リーダークラブ結成総会が、7月31日午後、町中央公民館で開かれました。

これは、地域の子どもの会活動などに積極的に参加し、リーダーとしての資質の向上、会員の親睦を深めることが目的。結成総会には中・高校生20人余と育成者らが参加。J・Lの役割などを熱心に聞き入っていました。

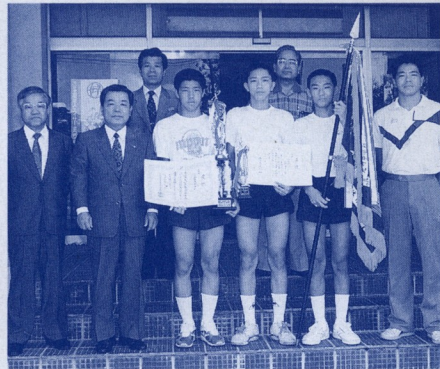
なお、役員は次の通り。
△会長・宮平和哉△副会長・新垣出、宮平康美△書記・金城征男△会計・照屋史



町建設業協力が20万円寄付

人材育成と福祉のために役立てて下さいと町建設業協力会(小波津勇会長)は、8月6日午後、町長室で町人材育成会及び町社会福祉協議会へそれぞれ10万円ずつ手渡しました。

同協力会は結成して3年余。加入業者は33社。あいさつの中で平安町長は「多額のご芳志に感謝します。貴協力会の御好意を大事にして有効に使いたい」とお礼の言葉を述べました。



優勝土産に凱旋報告(東中)

大分県で開かれた第14回九州中学校バレーボール競技大会で西原東中学校(瑞慶覧進校長)男子バレー部が三度目の優勝に輝きました。

8月12日、山田政和監督及び代表部員らが町に凱旋報告。優勝旗やカップ、賞状を手に喜びを表しました。平安町長はあいさつの中で「九州制覇おめでとう。これも平素の練習の成果と学校やPTAの理解があったから。全国大会でも頑張ってください」と激励しました。おめでとうございます。



沖縄カントリーが65万円余寄付

人材育成のために役立てて下さいと新沖縄観光開発(株)(沖縄カントリークラブ小堀啓介理事長)が、7月17日午後同社事務所でメンバーズゴルフフェスティバルの収益金659,500円を平安町長に手渡しました。

同フェスティバルは7月15日から17日までの3日間、132社の協賛で開催。あいさつの中で平安町長は「子どもたちの人材育成のために有効に使いたい」とお礼の言葉を述べました。

山入端利子さんが町代表に

婦人の主張大会



円内が山入端利子さん

町婦人連合会(下地郁子会長)主催、平成四年度『婦人の主張大会』が、八月十六日午後、西原南小学校体育館で開かれました。

同大会は、婦人がそれぞれの職場・地域に内在する諸問題を主体的に取り上げ主張しあうことにより、社会的な視野を広げ、婦人の地位向上と意識の高揚に寄与することが目的。

大会では、平安町長、城間町議会議長、稲福教育長をはじめ来賓多数が出席。会員約百人が参加する中、五人の発表者がそれぞれの立場から主張し、聴衆の注目を集めました。

結果は「ゴミバレー」をテーマに発表した小波津団地支部の山入端利子さんが最優秀賞に選出され、八月二十九日本町で開かれる第二十一回中頭地区大会に本町代表として出場することになりました。

なお、発表した方々及びテーマは次の通り。(敬称略)
▽最優秀賞・山入端利子(小波津団地支部)「ゴミバレー」
▽優秀賞・比嘉清美(西原ハイッ支部)「うまんちゅぬ宝」
真栄城八重子(翁長支部)「心豊かな青少年を育てるには」
大城富士子(内間団地支部)「出会いの中から学ぶ」・山城茂子(西原ハイッ支部)「子育てと地域活動」

シリーズ

がんばってます ⑬

難病に耐えて
無事学校生活

生まれた時からずっと病院生活をしてきた女の子が昨年の春、西原小学校に晴れて入学し、二年生(南小)になっ

た今も難病と闘いながら元気にがんばっている女の子がいます。

その女の子は、新里智代ちゃん(字小波津四十四番地、



首にチューブをつけているため
いつもマフラーをしている新里智代ちゃん

県営西原団地、七才)です。

広好さん(三十七才)、より子さん(三十二才)夫婦の長女として生まれた智代ちゃん。

病名が特発性肺胞低換気。起きている間は健康上問題はな

いが眠ると呼吸不全に陥るといふ極めてまれな病気で、県内の小児では智代ちゃんを含めて二人だけ。

智代ちゃんは七年前に浦添市内の産婦人科医院で生まれた

たが、酸素欠乏によって起こるチアノーゼ症状が見られ、

その翌日には県立中部病院に転院。二ヵ月後に先天性の肺

胞低換気であることが判明しました。このため睡眠時は呼吸を維持するため、気管切開チューブを通じ、人工呼吸を続けてきました。

現在、智代ちゃんの自宅には人工呼吸器や心電モニター酸素濃縮機などがあり睡眠時は両親が念入りにチェック。日中でも酸素吸引が一〜二回必要であり、しかも首にチューブをつけているため当初学校生活も心配だったという母親より子さんは「五才の時、

大腸の手術もしたので幼稚園生活は入退院のくり返しでした。しかし、普通学校に入学

でき、しかも吸引するヘルパーもついているので智代は恵まれてます。病院や行政に感謝しています」と話していました。

弟・良平くん(四才)、良賢くん(二才)と元気に遊んでいる智代ちゃん。両親にとつては胸をなで下ろす日はまだ遠い。自転車に乗るのが大好きという智代ちゃんは病気に負けないでがんばっています。



プールでは子どもたちの黄色い声が聞こえます

「暑い時はプールが一番さ」

プール開校に喜ぶ 子どもたち

ちよつと

拝

見

コーナー

坂田小学校及び西原東小学

校両プールでは、七月二十七日

日から八月二十日までの間、

プール開放が行われました。

これは、学校体育施設開放

事業の一環で、学校体育施設

を学校教育に支障のない範囲

で、幼児、児童、生徒、一般

の利用に供するためのもの。

期間中は、月曜日から土曜

日までの一日三回(①午後一

時十五分から二時四十五分②

午後三時から四時三十分③午

後六時から八時まで)。一回に

つき定員が四十人であること

から入口では先着順に並びま

す。時間前には水着に着替えて準備OK。

町教育委員会・社会教育課

の係員の合図により、子ども

たちは一斉にプールの中へ。

猛暑の中で待ちくたびれた気

分もどこへやら、あちらこち

らでキャッキャツとはしゃぐ

声が聞こえます。

小学校三年生以下について

は、父母が同伴。西原東小二

年生と三年生の母、豊里江利

子さん(字小橋川五十八番地)

は「プールを利用して今回で

二回目です。子どもたちは毎

日でも入りたいと言うのです

が親の同伴を義務づけしてい

るので、毎日は無理です」と

話していました。

真栄城裕子さん(西原東小

四年生)は「昨年は断水のた

めプールに入れなかったけど

今年はいっぱい入れるのでう

れしい」と黄色い声で話しま

した。

子どもを健やかに育てる上

で両親の正しく深い愛情が最

も大きく又、周囲の環境の影

響も大きい。子育てに自信の

ない私は、PTA活動に参加

することによって、先輩方か

ら諸々の教えをうけ自分の子

育てに役立てようと、今年度

は、坂田小学校PTA役員の

仲間入りをしました。

坂田小学校PTA役員は、

天久会長を筆頭に若いメンバ

ー(?)で構成され、会員の

協力により活動がさかんであ

ります。去った八月一日には

第十四回PTA親子盆踊りの

夕べが催されました。これは

親子で楽しく踊りながら、P

TA会員相互の親睦を深めよ

エプロン通信員

山城 美恵子

「PTA活動を通して」

うという目的で行なわれてお

り、三百余名の参加のもと花

火大会や福引きもあり又、お

菓子の手みやげをもらい満足

そうな子供達の顔ありで大盛

会でした。

又、学校周辺の交通量の増

加に伴い、四月からは校外指

導委員会を中心に全父兄の当

番制による交通安全指導も始

まりました。

子どもたちを非行から守るた

め健全育成委員会も発足し、

自治会長の協力も得ることが

できました。

子供会結成を推進するため準

備中であり地域ぐるみの活動

をめざしています。

飽食暖衣の中で何不自由な

く育ち、受動的で自分のこと

しか考えることのできない子

供達が増えていると聞きます。

実はそのように育てたのも、

私達親であり責任は大きいと

思います。

生きていくために何が大事

かを教えるとき、親の豊富な

人生経験が一番の参考書であ

り、その一ページを作る上で

私のPTA活動は、大きな力

文化庁芸術祭沖縄公演のお知らせ

《9月公演》

琉球舞踊

監修：真境名佳子 演出：勝連繁男

「肝清らさ・花美らさ」

出演：古謝弘子、玉城千枝子、玉城冨子 他

9月10日(木)19:00～

演目：「諸屯」「伊野波節」「かなよ一天川」「花風」など

県立郷土劇場

〔入場料〕 一般2,500円 児童生徒1,000円

琉球舞踊

監修：真境名佳子 演出：勝連繁男

「稔りの秋に」

出演：宮城幸子、玉城節子、谷田嘉子、金城美枝子、親泊久玄、

9月13日(日)19:00～

宮城能鳳 他

石垣市民会館

演目：「諸屯」「伊野波節」「高平良万歳」「八重瀬の万歳」

ほか

〔入場料〕 指定席3,000円 自由席2,000円 児童・生徒1,000円

※児童・生徒の料金の適用は自由席のみ

民俗伝統の系譜

演出：宮城信行

～地域芸能の交流

出演：下北の能舞(青森県)、綾子舞(新潟県)、壬生狂言(京都府)

9月27日(日)19:00～

多良間の組踊(多良間村)、シティナ節(伊江村)

宜野湾市民会館

〔入場料〕 一般1,000円 児童・生徒500円

〈国際公演〉

ソロモン民俗芸能団、ラオス民俗芸能団、沖縄の民俗芸能 ほか

アジア・太平洋

うたとおどりの祭典

入場無料(往復はがきによる申込)

9月21日(月)19:00～

名護市民会館

その他、9月19日～20日にかけて、協賛公演の県芸術祭、県民劇場の公演とバレエ「執心の彼方へ」の公演があります。

お問い合わせ先：

文化芸術沖縄公演実行委員会事務局(県教育庁文化課) ☎098-866-2731

お知らせ
でーびる



募集・相談

無料
交通事故
ご相談

●電話のご相談もお受けします

☎098-868-8950(直通)

相談日：月曜から金曜午前9時半～12時
午後1時～4時40分(祝祭日を除く)

◎専門の相談員が親身になってご相談に応じます

社団法人 日本損害保険協会

沖縄自動車保険請求相談センター

《警察官B、婦人警察官、交通巡視員》募集

【受付期間】 平成4年8月21日～9月18日

【試験日】 平成4年10月18日(日)

【試験場所】 那覇市、沖縄市、名護市、平良市、
石垣市

お問い合わせ先 沖縄県浦添警察署 警務課

☎098-875-0110(内線211・212)

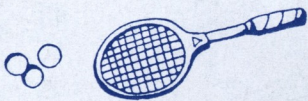
教育相談所の電話が開設されました。 ☎946-9846

第12回 町民テニス選手権大会

期日：平成4年7月12日(日)

場所：西原町中央公民館、南西石油(株)

結果(報告)



男子 (優勝者) (準優勝者)

ダブルス 上原 義人・泉 明光
下地 一芳・新川 高志

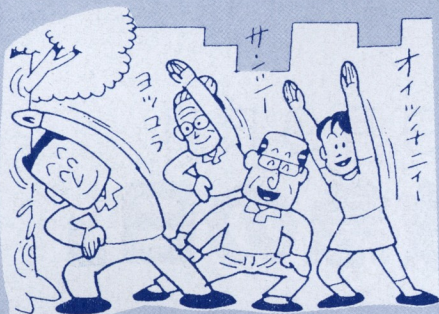
シングルス 下地 一芳・新川 高志

女子

ダブルス 平良 ヨシ子・安里 和美
座喜味 和代・小橋川 チエミ

シングルス 安里 和美・平良 ヨシ子

主催 町体協硬式テニス部



健康増進普及運動

平成4年度国民年金標語募集要領

1. 目的

高齢化社会の進行にともない、老後の所得保障の中核である国民年金への期待が高まっている。県民のより一層の理解と関心を高めるため、標語の募集を行い、入選作は「国民年金制度推進月間」などにおける広報の推進に活用する。

2. 主催

沖縄県生活福祉部国民年金課

3. 募集要領

(1) 標語の内容

- ①国民年金加入促進に関するもの。
- ②国民年金保険料納付促進に関するもの。
- ③国民年金給付に関するもの。

(2) 応募方法

- ①郵便ハガキまたは封書により沖縄県生活福祉部国民年金課(〒900 那覇市泉崎1-2-2)へ提出。

- ②応募者の住所・氏名・職業は必ず明記すること。

(3) 締め切り日

平成4年9月16日(水)

(4) 入選の決定

標語選考委員会において決定。

(5) 表彰及び発表

入選作には記念品を贈呈する

発表は本人へ通知するほか「ねんきん沖縄」に掲載する。

(6) その他

応募作品は返却しない。

なお、著作権は主権者に帰属する

法律無料相談を知っていますか。

(沖縄弁護士会)

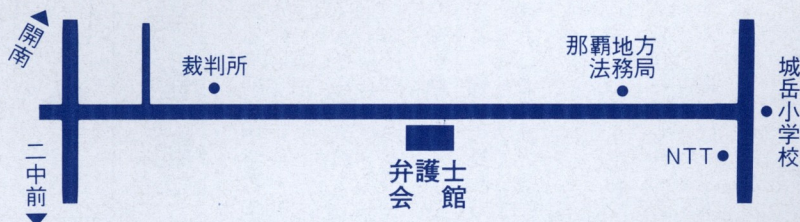
困ったときは、気軽にご相談ください。

・法律問題(有料 無料)・交通事故示談斡旋・講師の斡旋・事件担当弁護士紹介・訴訟費用の立替え・顧問弁護士紹介・ご相談の上で弁護士の紹介や法律扶助協会の紹介なども行っています。

【受付】 毎日午前10時から午後4時まで弁護士会に電話でお申し込み下さい。

【相談日時】 毎週月、水、金の各曜日(祝祭日を除く)の午後1時から午後5時まで。

沖縄弁護士会館3階 ☎ 098-833-5545



寄付・香典返し

▽字小波津五百六番地、糸数盛吉さんが、故妻ヨシ子さんの香典返しとして町社協へ十万円、町老ク連へ五万円。

▽字津花波百七十六番地、興儀清次さんが、故妻シゲさんの香典返しとして町人材育成会へ十万円、町社協へ十万円。

▽字与那城五十八番地、宮平宗益さんが、社協の退職を記念して町社協へ十万円、町民生委員・児童委員協議会へ五万円。

▽字安室八十二番地、金城貞昭さんが、故母カメさんの香典返しとして町社協へ三十万円。

9月(SEP.) 行事・祭事予定

- 2日(水) ○旅講座開級(10回) 20:00 町中央公民館
○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター(9日、16日、22日)
○三歳児健診 13:30 社会福祉センター
- 3日(木) ○麻診 13:00 町中央公民館
- 4日(金) ○町社協食事サービス 10:00 老人ホーム守礼の里(18日)
○法律講座開級(10回) 20:00 町中央公民館
- 5日(土) ○風疹 13:30 町中央公民館
- 6日(日) ○朝市 9:00 役場前駐車場(20日)
- 9日(水) ○老人と子どものつどい(映写会) 15:00 児童館
- 10日(木) ○話し方講座開級(10回) 14:00 町中央公民館
- 11日(金) ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館(25日)
- 12日(土) ○町役場閉庁
○ビデオ会 14:00 児童館
- 13日(日) ○国際交流親善スポーツ大会
- 15日(火) ○第9回敬老会(町社協)
- 16日(水) ○離乳食実習 13:30 町中央公民館
- 17日(木) ○1歳半健診 13:30 町中央公民館
- 19日(土) ○映写会 14:00 児童館
- 20日(日) ○第12回町民陸上競技大会(町体協)
- 26日(土) ○町役場閉庁
- 27日(日) ○運動会(西小、東小、南小)
- 28日(月) ○子宮・乳ガン検診 13:30 町中央公民館

10月(OCT.)

- 2日(金) ○絵本づくり講座開級(10回) 14:00 町中央公民館
○町社協食事サービス 10:00 老人ホーム守礼の里
- 3日(土) ○西原保育所運動会
○乳児一般健診 13:00 町中央公民館
- 4日(日) ○体育祭(東中)
- 5日(月) ○三歳児健診 13:30 社会福祉センター
○着付講座開級(10回) 20:00 町中央公民館

※都合により日程変更することがあります。

編集後記

先日、ある場所で中学校の同期生に会いました。

(私)「あい／＼Aさん元気ねー。」

(A)「はっ、ひろこーるやりー」

(私)「あんし、年ぐわーとうとーる」

(A)「あいえー、後から見たら」

どこのおばさんかと思っ

たさー。

(私)「相変わらず口わるーだね」

(A)「へー／＼お互い様やさ」と

会話がはずみ、最後は、二人で「めーばーん、うすいかな

ていー」して笑っちゃいまし

た。同期生はいいですね。



字森川160番地
安座間喜進さん

こんにちは
「ひとこと」
⑩

カンダバー、ンブサー
が大好き

畑仕事を長男に譲った後、家庭盆栽に精を出す安座間喜進さんは84才。十年前から自己流で始めた盆栽が、今では百鉢以上に。気が向いた時に水かけや手入れをする。今では、それが一番の楽しみに。食事は何でも食べるという安座間さんは「カンダバー、ンブサーが大好きです」と話していました。

9月9日は 「救急の日」

